

残暑きびしい折、皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。
本年は都議選、参院選と2度の大きな決戦も終わり、国会においては、ねじれの解消をすることができました。私も「公明党チーム3000」の一員として、今後とも皆様の声を実現するべく、都議会、国会とも積極的に連携し、取り組んで参ります。
皆様の貴重なご意見・ご要望を何卒よろしくお願い致します。



2013年3月の予算委員会で質問しました。

胃がん予防について

胃がんは、がんの死因では肺がんに次いで第2位。ピロリ菌が胃がんの発がん因子であることが分かっている。世田谷区においても胃がん検診時にX線検査に比べて費用も5分の1で済む血液検査による「ピロリ菌胃がんリスク判定」を導入すべきだ。

街路灯のLED化について

世田谷区においても本年度より、消費電力の少ない街路灯のLED照明化に本格的に着手。一方、他の自治体ではリース方式により一気にLED化している。区内に現在LED化されていない大型水銀灯は約3800灯。今後LED化を一層推進するため、他自治体のようにリース方式で一気にLED化を推し進めるべきである。

認知症対策について

認知症は、重篤になればご本人も介護をされるご家族の方の負担も大きくなる。早期発見・治療に繋げるために今後、高齢者見守りネットワークとどう連携していくのか問う。

154号線が梅丘2丁目信号から城山通りまで開通

待望の区道154号線（国土館大学の西側を通る道路）が、9月中旬に梅丘2丁目の信号と城山通りの区間、開通の運びとなりました。今回は城山通りまでですが、今後世田谷通りまで開通すれば、バスの運行なども考えられ南北交通が改善される期待も高まります。



7月1日「せたがやホッと子どもサポート」がオープン

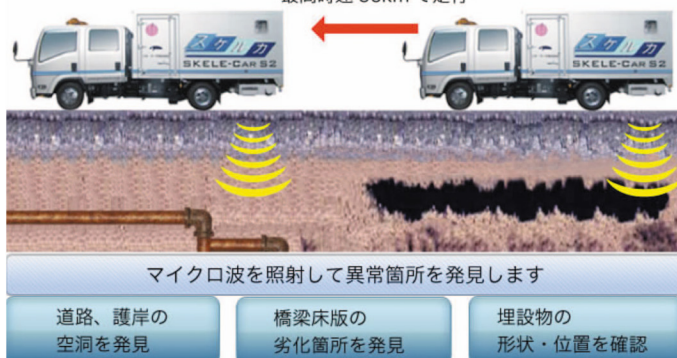
世田谷区子どもの人権擁護機関（せたがやホッと子どもサポート）が宮坂の子ども・子育て総合支援センター3階に設置され7月1日にオープンしました。相談でき

命を守る道路の総点検について

わが党は、国民の命を守る社会インフラの整備を進めている、今までのように陥没してから修繕する事後型ではなく、地中レーダーを活用して点検を進め、陥没する前に修繕をすることにより安全を確保すべきである。区内においての陥没事故は23年度に76件、24年度は61件と聞いている。まずは緊急輸送道路やバスなどの大型車が通行する道路から計画的に点検をして陥没する前に修繕をすべきである。

「スケルカー」が見えないインフラの危険を探知！

最高時速 60km で走行



るのは、18歳未満の子どもの権利侵害にかかる事案で、18歳未満の子どもやその子どもの保護者・関係者です。今後は直接電話やメールで相談できます。

この機関の必要性は、昨年から公明党区議団として主張し実現したものです。「せたホッと」フリーダイヤルは、0120-810-293。メールは、区のホームページから「せたホッと」でアクセスをお願いします。

皆様のご意見・ご要望を
区議会公明党までお寄せ下さい。

自宅

〒154-0022 世田谷区梅丘3-4-12
Tel/Fax. (3420) 0240
E-mail: keiji@hiratsuka-net.com

区議会公明党

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
Tel. (5432) 2788 Fax. (3413) 7233
http://www.komei-setagaya.org

